

【別紙 2】 流失した工事用資機材の概要

現在、当社は、信夫発電所のダムゲート取替工事を実施しております。

本工事に係る工事用資機材は、信夫ダム上流（右岸側）約 1.5 km 地点に設けた資機材積込個所である船着場より、台船へ荷積みし、工事個所（信夫ダム）まで運搬しておりました。

今回、流失を確認した工事用資機材は、鋼管製の直径 0.8 m、長さ 6.0 m、重さ約 2.0 t の防舷材（**図-1**、**写真-1** 参照）であります。

本工事用資機材（防舷材）は、台船が船着場に接岸する際の衝突、衝撃緩和のために使用していたものであり、台船未使用時に船着場からダム調整池内に移動し係留させていたところ流失を確認したものであります。

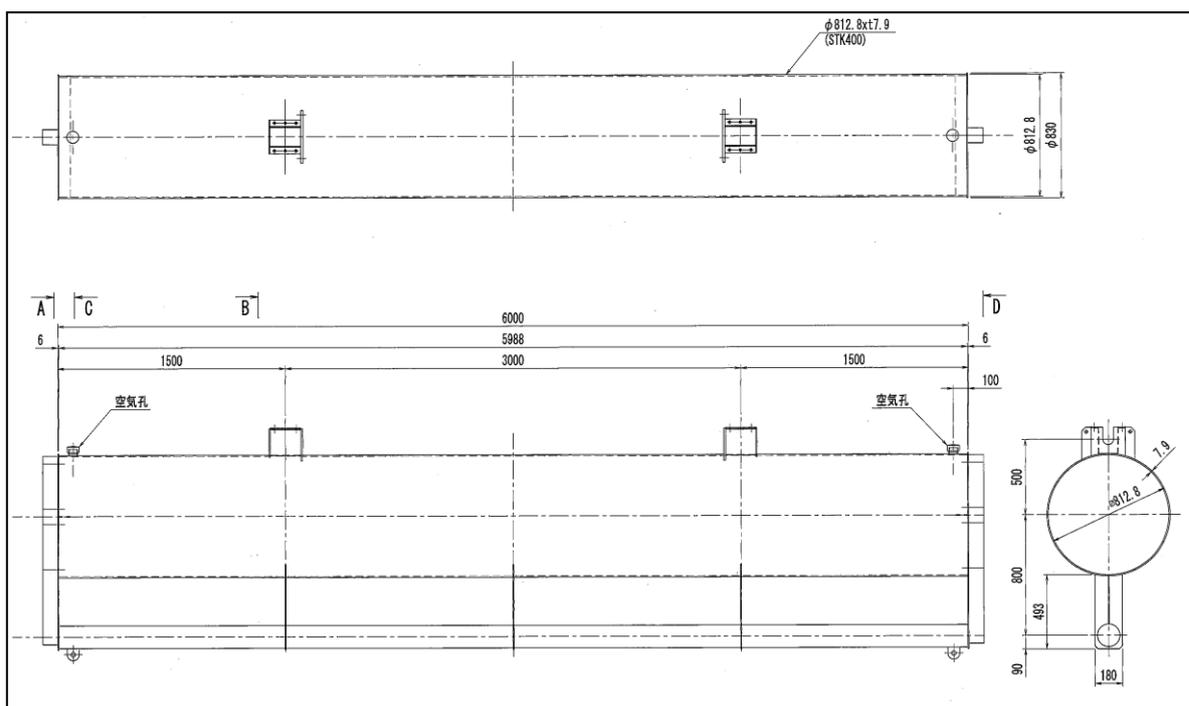


図-1 工事用資機材（防舷材）構造図



写真-1 流失した工事用資機材（防舷材）

※流失したものと同型のもの